

「すべてのものが新たになる」

～救いの道はすでに開かれている！～

「全きものが来る時には、部分的なものはすたれる。」”But when the Complete arrives, our incompletes will be canceled. (完全な世界がやって来る時、我々の不完全な世界取り消される)”

〔メッセージ〕 コリント人への第一の手紙13章10節

「天地は滅びるであろう。しかし、わたしの言葉は決して滅びることがない。」”Heaven and earth will pass away, but My words will by no means pass away.”〔NKJ訳〕 ルカ21章33節

66冊の書物から作られている聖書が語ることは完全に一貫しています。その最初と最後の書物、すなわち、「創世記」と「ヨハネの黙示録」を読むとすぐに分かります。

「創世記」の天地創造では、神様の手によって完全な世界が造られました。悪魔の誘惑と人間の罪によってこの世界は墮落し、不完全なものになってしまいました。

しかし、イエス様による救いの御業によって、世界に救い、神の完全が再びなされるという希望の道が与えられました。

そして、「黙示録」の中に記されているように、やがて、世の終わりが来て、今までの不完全な世界が完全になくなり、完全なものに新たに造りかえられるということがなされようとしているというメッセージがヨハネを通してすべてのクリスチャンたちに、すべての教会に伝えられました。再び完全なものが造られる前に、不完全なものはすべて取り消されます。

しかし、不完全なこの世の中をそのまま存在させて、最終的に葬り去るならば、どうして、不完全な世の中をそのままにしておかれたのか？その理由は私たち人間には分からない。なぜなら、その真意は神様だけがご存知だからです。

しかし、聖書はその世界の繰り返しに記されているように感じます。神様が道を示されて、その道を歩もうと人間たちも最初は頑張っていますが、しばらくするとその道を歩めなくなる。それでも神様は何度も様々な状況や、人々を送ってその道を歩めるように導きます。そして、何度も道を示しても、踏み外し続ける人間に対して、大々的に救い主を送って完全なる救いの道を開くことによって、誰でもその道を歩けるようにしました。後は、一人一人にお任せになりました。しかし、このままでは、どれだけの人々が神様が開かれた救いの道を行くことができるだろうか？と正直不安になります。私たちも必死で福音をお伝えしたいと願いますが、後は、一人一人の心の問題です。

小羊として死んでくださったイエス様だけが救いの道です。人の子としてこの地上を生きて下さった神であるイエス様だけが救いの道です。それを知っているのは私たちクリスチャンだけです。先に救われた者として、この事実をすべての人々に、ひとりでも多くの人々にお伝えしていかなければなりません。そして、その人が救いを受け止められるように導き、祈る使命があります。私たちはひたすらに家族や友人のために祈り続けてきました。しかし、まだ中々その実を見ることができませんが、それでも、あきらめずに、このことに励んでいきたいと思えます。「主にあってはその労苦が無駄になることはない」とあなたがたは知っている」1コリント15:58b